

<活動報告書>

フリガナ		クマモトケンリツクマモトコウギョウコウトウガッコウ
①学校名		熊本県立熊本工業高等学校
②担当者	フリガナ	
	氏名	
	所属 役職	建築科 、 建築科主任
	TEL	
	E-mail	
③申請テーマ		熊本城の伐採樹木を活用した木工品の製作と地域貢献
④活動期間		2024年 4月 ～ 2025年 1月
⑤活動内容 を記載 ※原則「活動説明動画」の提出をお願いします。 「活動説明動画」を提出していただいた場合は記載不要です。		①活動内容 熊本城で倒木等の危険がある樹木の伐採で出た材料を活用して木工品を製作し、熊本城や地域等に寄付する。 ②目的 令和5年5月に熊本城総合事務所より熊本城の伐採樹木の活用についての依頼があり、それらを活用した木工品を製作し、熊本城や地域住民に寄付・活用していただくことで地域に貢献する。 ③効果 本活動をとおり、生徒がSDG s の意識を高め、地域貢献等を経験することで社会に寄与できる人材育成を目指す。 ④具体的な活動 建築科3年生の授業である課題研究で、来年度（令和6年度）から活動に取り組む。まずは、熊本城の伐採樹木で活用できそうな木材を選定し、様々な製品に活用できるように加工等を行う。その後、加工した木材を例えばベンチやキーホルダー等の木製品に仕上げ、寄付する。 ⑤創意工夫 建築科2年生の授業において、製作できそうな木製品をグループごとに構想・設計させている。また、グループごとの利活用方法をプレゼンテーション形式で発表させる予定。 ⑥その他 木製品完成後は、熊本城をはじめ地域等様々な場所（例：小学校など）に寄贈を予定している。
⑥活動説明動画 の有無		ある ・ なし
⑦活動費用合計 ※シート②の「2.実績額」の「①事業に要する費用」の合計がリンク		300,000 円

<活動状況写真>

※原則「活動説明動画」の提出をお願いします。
「活動説明動画」を提出していただいた場合は「活動状況写真の貼付、状況説明の記載」は不要です。

【写真1】



(写真①)



(写真②)



(写真③)



(写真④)

(状況説明)
熊本市からの依頼で、熊本城で倒木等の危険がある樹木の伐採で出た材料の活用として、実際に現場を訪れて活用方法の検討を行った。（写真①・②）
本校で製材可能なものは持ち帰り、小物製作で使えるように製材を行った。（写真③・④）
また、本校で製材が不可能な大きな材料は、熊本県の製材所において、板材や角材として挽き割っていただいた。

【写真2】



(写真⑤)



(写真⑥)



(写真⑦)



(写真⑧)

(状況説明)
製材所で挽いていただいた材料（桜）を乾燥させ、骨組・板材・デザインとして皮付き丸太で傘立てを作製。熊本市へ寄贈し、市の施設で利用していただく。（写真⑤）本校で製材した材料は、薄く製材した後にやすりで仕上げて、木の葉を作製。葉紐は本校の繊維工業科に協力してもらい完成。（写真⑥）学校説明会や出前授業・木工教室で配布した。また、木工教室で作製したペン立ての側板として使用。底板は実習での廃材を利用した。（写真⑦・⑧）

【写真3】



(写真⑨)



(写真⑩)



(写真⑪)



(写真⑫)



(写真⑬)



(写真⑭)

(状況説明)
熊本県農業公園カントリーパークからの依頼で、園内のベンチ補修と新たにベンチの作製を行った。（写真⑨・⑩）補修のベンチは、再利用が可能なフレームやネジ・ビス等は一度持ち帰り、酢やディスクグラインダーでさび等を取り除いた後に、再塗装をかけて使用した。（写真⑪）ベンチの座面には腐れにくい檜材を使い、防腐塗装を行った（写真⑫・⑬）新たに作製するベンチは、外部でも腐れない設計にしている。また、コンクリート作製は、本校の土木科と協力した。（写真⑭）